3月8日生

13時半~

東京・文京区民センター

め括りの梁慶洙・民主労総委員長の挨拶から(民主労総機関紙『労働と世界』webサイトより)大雪が降るなか民主労総が市民とともに繰り広げたソウル漢南洞の大統領官邸前3泊4日闘争締

吹雪も雨風もわたしたちを揺るがすことはできませんでした! こうしてわたしたちは同志となり砕かれない連帯をつくっています!

わたしたちの3泊4日は偉大でした!

反基地運動の最前線―宮古島、佐賀、馬毛島 トランプのガザ発言 PFLPの見解 日朝全国ネット都内で結成総会開く 連載 第三世界のなかのレーニン思想① [8 下請け被ばく労働問題で都労委命令 ディアス-カネルインタビュ



戦争の根を断て

ロシア・ウクライナ戦争の停 びてゆく。 争の根は絶やされず、生き延 がつづく社会である限り、 って動き始めている。停戦に 戦が、トランプの再登場によ だ。だが、人による人の搾取

の排外主義が欧米で吹き荒り 全域を席巻していたが、これ の前夜、ファシズムはイタリ ている。欧州2か国中、極 の選択肢」(AfD)の躍進 れた極右政党「ドイツのため 労働者人民の立場に立つなら ア・ドイツばかりでなく欧 でおよんでいる。第2次大戦 ふくむ) が過半の15か国にま 政党が政権を握る国(連立を にみられるように、移民排 れの前には広がっている。 **と酷似する状況がいまわれ** 南泰嶺に集まってくださ い!」(19時20分発信)だ。

ショナルセンター全国民主労 げて挑戦する隣国・韓国のナ かで考えてみたい 総)の取り組みを紹介するな 会大改革」 のスローガンを掲 動するわれわれにとっても喫 やウクライナをはじめとする の側に有利に使い、態勢を立 の時期を、いかに労働者人民 は、停戦で確保される息継ぎ 欧州だけでなく、アジアで活 こ直すか? それは、ロシア そ越えたい。絶対に越えなけ にここ、南泰領です。今度こ ものよりもっと強い連帯の力 けてください。世のいかなる ちの牛金峙・南泰領に駆けつ ればならない。必ずや越える のできなかった牛金時がまさ 領が牛金峙です。甲午年、 で、ともに南泰領を越えて、 でしょう。/農民たちととも 学農民軍がついに越えること 4年の今日、まさにここ南泰 行動してください。こんに

南泰嶺大捷

テー3・8東京集会

農)・全国女性農民会総連合 労総や全国農民会総連盟(全 退陣に追い込む闘いが、民主 えてタクシーなどで南泰嶺に 道をふさぐ警察に夜を徹して 駆けつけ、農民たちとともに ために食料や暖房具などを携

領官邸前の道路に進出し、当 この日午後、民主労総は大統

市民の応援棒(筆者注:ステ

ターが鉄条網を踏みしだ

ィックライト)が尹錫悦を

群だった。

に進撃してきた民主労総の一

端を三つ紹介しよう。 徹した歴史認識にもとづいて われわれは注目する。その一 を代表する組織によって、透

ころ、ソウル市内に入る手前 ターや貨物自家用車を駆って 琫

準

闘争団」が韓国南部の その1。昨年12月21日、 準闘争団」がSNSに載せた 車列を組んで行進していたと 農・全女農が組織した「全 緊急呼訴文「市民のみなさ た。これは、その時、「全琫 の峠道・南泰領で横付けされ 横断幕をくくりつけたトラク けて「尹錫悦拘束!」などの 大統領官邸がある漢南洞にむ に警察バス数台に道をふさが 、その先に進めなくなっ 南・全南地方からソウルの

《市民のみなさん! 202 この呼訴文を読んだ労働者・ **| 良たちは、夜、農民たちの 漢南洞に進撃しましょう!》** 後、

ん! 2024年の午金時= 察バスを移動し、 て、対峙すること28時間、

その2。また、この「南泰領 大捷」から10日あまりたった 漢南洞の3泊4日

たちの間には失望がひろがっ そそくさと引き上げた。市民 処と首都防衛司令部の軍を動 本部に代わって力強く漢南洞 東に失敗して大統領官邸から たが、尹錫悦側は大統領警護 が、大統領尹錫悦の拘束のた たが、それを希望に変えたの 員してこれを阻み、 5時間 めに大統領官邸に入ろうとし 察で構成する合同捜査本部 者犯罪捜査処(公捜処)と警 今年1月3日早朝、高位公職 合同捜査本部は尹錫悦拘 か。/5時間程度のショー クリフトがかれらのバリケ たのです。/労働者のフォ で、わたしたちが起ちあがっ はいったい何をしたでしょう してあきらめました。そ

り、時折、粉雪が舞うなかで 警察は道路をふさいでいた警 の連帯闘争であった。そし 零下10度近くまで気温が下が 日の午後4時半ごろ、ついに 初 南洞闘争が、民主労総ととも に行動する市民からの提供

起を

りひらいた勝利として高く評 労働者・市民の連帯闘争が切 の大勝利)と名づけ、農民と を「南泰嶺大捷」(南泰嶺 り、沿道で手を振って迎える 価し、語り継いでいる。 できなかったことを成し遂げ 6年の朴槿恵退陣闘争時でも ったのである。これは201 官邸最寄りの漢江鎮駅に向か 市民たちは、ソウル市内に入 争団」の農民たちと労働者・ 人びとの歓呼のなかを大統領 に快挙であり、人びとはこれ した。こうして、「全琫準闘 道路を開放

ました。/3泊4日、わた した。/市民が一緒に駆け る大規模ストライキを展開し 錫悦執権1年目に物流をとめ 真】もあり、大統領官邸 たちが闘っている間、公博 けてくれると信じていま した。/闘いに臨むと話し 軍の心境で、市民軍の決意 うにしましょう。 / そのため 《尊敬する組合員のみなさ た参加者たちの体を温め したのであった。現場では 込み闘争を、体をはって 民は決して容易ではない座り 受けて、3泊4日に延長 た。/その信念が現実にな で、闘いに出ることを話 し、民主労総の組合員に独立 ん!/3日間の闘争を関 ある。民主労総ホームペー 委員長の挨拶「3泊4日の を率いた民主労総の梁慶洙 つぎに掲げるのは、この を無料で提供して、冷え切っ 座り込む民主労総組合員 て闘われた。その過程で 対体が温かい食べ物や飲み物 暖房バスを提供し、また支援 こうしてわたしたちは同志と て大弾圧を受けた民主労総傘 大雪の降りしきる日

【上記 人な闘争を終えて」の全芸 11月6日付で掲載され の公共運輸労組貨物連 た。

ゲ」(また巡り逢えた世界、 成世代は「タシマンナンセ 争・・」を叫び、労働者と既 でした。/ろうそくの火は風 た。吹雪も雨風もわたしたち たちの3泊4日は偉大でし を繰り返さないようにしまし ったと、ため息をついた過ち 退陣させても何も変わらなか なり、砕かれない連帯をつく もに応援棒を振りました。/ 筆者注:音楽グループ「少女 意志を確認することができま はしないというわたしたちの に消えますが、応援棒は消え を揺るがすことはできません っています。/朴槿恵政権を 時代」の楽曲)にあわせてと した。/青年たちは「闘 その3。昨年12月7日、一回 りひらいたのである。 目の尹錫悦弾劾訴追案が与党 「国民の力」議員の議場欠席 14日)された日、事態の成り で否決(可決は、一週間後の

尹錫悦と内乱の首脳部、本 体、手足を根こそぎ一掃しな ないことを確認しました。 罪するために「そこをど ざいました。/ともに過ごし

ければなりません。/わたし 錫悦という内乱首魁個人では け!」と闘いました。/わた したちの闘うべき対象が、尹 史となることでしょう。/勝 た3泊4日が、わたしたちの 道をひらく民主労総 りませんが、きっと勝利の歴 歴史にどう記録されるか分か しましょう! 闘争!》 利の信念をもって力強く前進

う、泣き言を繰り返さないよ が、つき従った者らがいまだ ことができることをもう一度 の力は、かれらを屈服させる 偉大な闘争は終わります。 ましょう。 これで3泊4日の 確認しましょう。/みなさん、 やりましょう。/わたしたち 化門で、わたしたちの怒りと せん。/みなさん、闘いに出 最後まで闘わなくてはなりま かわなくてはなりません。ノ と、より堂々と闘いに立ち向 わたしたちはよりしっかり はなりません。ノそのために、 に、わたしたちはあきらめて に既得権を維持しているとい う。軍部独裁に携わった者ら り返さないようにしましょ 親日派が暴れ回った過ちを繰 ょう。/日帝を清算できず、 本当に、本当にありがとうご 決意のほどをかれらに見せて しかし、土曜日にもう一度光 組合旗をじぶんも持ちたいと れば安心できる深い。懐。のよ それまで長らく『朝鮮日報』 この時の映像が瞬く間にSN のだ。こうしたなかで、街頭 うな存在という像がひろく人 労働組合は自分たちのために 民のあいだに意図的な分断の は自分たちのことしか考えな ンペーンが張られ、労働組合 よって「労組利己主義」キャ のような極石大手マスコミに ひらく民主労総」「市民の先 S上で拡散され、「道を切り 総の梁慶洙委員長が傘下の公 集して危険な状態になったこ (2面につづく) デモの先頭にたつ民主労総の 団と宣伝され、労働組合と人 で交通を渋滞させる迷惑な集 が人民大衆の共感を呼んだ。 察の規制線を決壊させ道を切 共運輸労組の組合員に警察の とがあった。この時、民主労 ないようにした。そのため、 民大衆のなかに芽生えてきた 闘ってくれる存在、そこにい し、そうした認識が誤りで、 頭で闘ってくれる民主労総」 の末、労働組合員の実力で警 規制を解くよう指揮し、攻防 制線をはり、国会前に行かせ 人民大衆に対して、警察は規 国会議事堂前に集まってくる 行きを見届けようと汝矣島の い、ストで物流をとめ、デモ 道路上には人波がおしよせ密 楔が打ち込まれてきた。しか